

**荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関する
ガイドライン策定ワーキンググループ
第2回 検討会 議事要旨**

I. 日 時 2016年11月30日(水) 14:00-16:00

II. 場 所 国土交通省 中央合同庁舎2号館 1階 共用会議室5 (東京都千代田区)

III. 配布資料

- ① 第2回 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 議事次第
- ② 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 委員名簿
- ③ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 配席図
- ④ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 第1回 検討会 議事録
- ⑤ 荷主との連携や事業の共同化等による生産性向上方策に関するガイドライン策定ワーキンググループ 第1回 検討会の振り返りと主な変更点
- ⑥ トラック事業の生産性向上方策に関する手引き(仮称)策定計画 (資料1)
- ⑦ 調査対象の事例(案) (資料2)

III. 出席者

座 長	増井 忠幸	東京都市大学 名誉教授
委 員	金城 佐和子	パナソニック株式会社 物流企画部 企画室 管理総括担当 主幹
	古賀 秀之	国分グループ本社株式会社 経営企画部 課長
	坪井 康彦	イオングローバル SCM 株式会社 事業本部 運営管理部 部長
	樋口 恵一	川崎陸送株式会社 代表取締役社長
	藤倉 泰徳	株式会社藤倉運輸 代表取締役社長
	松崎 宏則	公益社団法人全日本トラック協会 常務理事
	安武 正文	TOTO 株式会社 物流本部 グローバル物流推進部 部長 (代理：濱田 剛)
	加藤 進	国土交通省 自動車局 貨物課 課長

オブザーバー

	大庭 靖貴	国土交通省 総合政策局 物流政策課 企画室 課長補佐
	吉濱 暁	国土交通省 総合政策局 物流政策課 企画室 物流高度化・連携企画推進官

事務局

	森川 健	株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 産業インフラグループ 上級コンサルタント
	溝口 卓弥	株式会社野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 主任
	北條 英	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 ロジスティクス環境推進センター センター長
	濱崎 晃	公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 JILS 総合研究所 准主任研究員

以上15名 敬省略・順不同

V. 議事の経過

1. 開 会

開会にあたり、増井座長が開会の挨拶を述べたうえで、第1回検討会において欠席された委員及び代理出席者の自己紹介が行われた。

増井座長による配布資料の確認とともに、配布資料④に基づき、第1回検討会の議論の確認が行われた。これらを踏まえて、下記のとおり、議事を進行した。

2. 議 事

1) 「トラック事業の生産性向上方策に関する手引き(仮称)策定計画」について

事務局より、配布資料⑤、⑥、⑦に基づき、「トラック事業の生産性向上方策に関する手引き(仮称)策定」の計画案が説明された。質疑応答と意見交換が行われた後、下記の事項が確認された。

(1) ワーキンググループの成果物について

ワーキンググループの成果物は「手引き」を想定し、個別の状況に合うようなQ&Aも取り入れるとよい。

(2) トラック事業の生産性向上の測定について

トラック事業の生産性向上を測るうえで、トラックの稼働時間でみる場合、積みおろし時間のなかから待ち時間等を除外するなどの検討を行うこと。

(3) 附帯作業について

附帯作業を構成する要素作業をリスト・アップすること。

トラックドライバーの業務の要素分解にあたっては、それぞれの要素に料金が発生しているか否かという観点で、整理・分析すること。

(4) 「手引き」における事例の取扱い方法について

- ・「手引き」において事例を取り扱ううえで、「誰がどのようにして、どこに働きかけていけばよいのか」、「先ず、誰がどこから取り掛かれればよいのか」、「(乗り越えるべき)壁は何か」を整理し、「事例」では、「壁をどのようにして乗り越えていったのか」といった実行する際のポイントを明確に示すこと。
- ・「すぐに着手できる事例」と「時間を要する事例」といったように、「手引き」の利用者が場面に応じて使い分けができるような事例の分類を行うこと。

2) 今後のスケジュール

・第3回検討会の開催概要について

日時：12月21日(水) 10:00-12:00

場所：中央合同庁舎第2号館 1階 共用会議室 3B

・第3回検討会に向けて

事務局は上記の議論を踏まえたうえで、調査経過報告を行うこと。

「手引き」に掲載する事例の内容の確認とともに、荷主やトラック事業者にとって、必要な情報が含まれているかという点を主に議論していくこと。

・第4回検討会の開催日時及び場所について

事務局より、第4回検討会の日時について、別途、メールでうかがったうえで、調整することが報告され、了承された。

3. 閉 会

全ての議事を終了し、増井座長が閉会を宣した。

以 上